

平成30年度
静岡県地域防災活動推進委員会
活動報告書

平成31年3月
静岡県地域防災活動推進委員会

平成30年度静岡県地域防災活動推進委員会委員名簿

委員	嶋津安則	(自主防災活動)	下田市自主防災会連絡協議会会長
委員	小林隆徳	(自主防災活動)	水道山自主防災会会長兼伊東市岡区自主防災会副会長
委員	遠藤修司	(自主防災活動)	中島自主防災強化対策委員会
副委員長・編集委員長	笹原和之	(自主防災活動)	富士宮市防災指導員会長
委員	瀧義弘	(自主防災活動)	静岡市自治会連合会会長
委員長・編集委員	横山功	(自主防災活動)	焼津市小川第13自主防災委員会参与
委員	中村隆哉	(自主防災活動)	掛川市地区まちづくり協議会連合会長
委員	米山英二	(自主防災活動)	浜松市中区泉自主防災隊長
委員	加藤泰樹	(防災士)	静岡県ふじのくに防災士会監事
委員	神谷尚世	(災害ボランティア)	特定非営利活動法人コラボりん湖西代表理事
委員・編集委員	松田寛子	(消防団)	藤枝市消防団
委員	柴田和利	(事業所防災)	湖西市商工会事務局長
委員	伊藤順治	(民生委員・児童委員)	静岡県民生委員児童委員協議会理事
委員・編集委員	大塚真知子	(男女共同参画)	静岡県男女共同参画センター交流会議理事
委員・編集委員	パルマ・パメラ	(国際交流)	静岡県国際交流員

※ 編集委員とは自主防災新聞の編集委員。



(平成30年4月26日 県庁)

目 次

I. 委員会の活動（実践的取組）		1
考 え 方	— 地域防災力の強化 —	1
	— 地区設定 — 第1回定例会	2
な 取 組	— 地域防災活動の推進 — 第2回～4回定例会	2
	— 実践結果（アウトプット） —	4
成 果	— 成果（アウトカム） —	5
	— 提 言 —	6
	II. 委員会の活動（自主防災新聞）	



委嘱状交付式(H30.4.26)



第3回定例会(H30.7.19)

—地域防災力の強化—

- ・平成 25 年の災害対策基本法改正

防災計画体系の中に、地域コミュニティにおける共助の推進のために「地区防災計画制度」が新たに創設された。(平成 26 年 4 月 1 日施行)

< 地区防災計画 >

地区居住者等が活動する地域コミュニティが主体のボトムアップ型の計画

—災害対策基本法—

- ①地区居住者等により自発的に行なわれる防災活動に関する計画
- ②市町地域防災計画の中に同計画は位置づけられる
- ③地区居住者等が市町防災会議に対して計画に関する提案(計画提案)を行うことができ、市町防災会議には提案に対する応諾義務がある。

< 特長 >

- ・地区の特性や想定される災害等に応じて、多様な形態をとることができる。
- ・作成主体、防災活動の主体、対象となる地域コミュニティ(地区)の範囲、計画の内容等は、地区の特性に応じて自由に決めることができる。

制度施行から 5 年経過し、県内で市町地域防災計画に地区防災計画が規定されたのは 3 市町 14 地区

県の 2019 年度までの総合戦略において、地域防災力強化への支援の目標の中に、地区防災計画を市町地域防災計画に位置づけた市町の割合目標を 65%とする指標他が設定されている。

静岡県地域防災活動推進委員会では、この現状をふまえ、地区防災計画の目標達成のため、各委員が地区防災計画の作成を実践し、現場で得られた課題や有効な手段をもとに議論を行い、地区の防災力の向上に資する提言としてまとめた。

— 地区設定 — 第1回定例会

第1回定例会 (平成30年4月26日:県庁)

- 「自主防災新聞」のテーマについて協議
- 事務局提示の案をもとに、年間の検討テーマについて協議

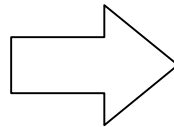
〈テーマ〉地域毎の「地区防災計画」策定実践のための提言作成

自主防災組織を代表する推進委員の所属する地区は、「地区防災計画」を自主的に作成する機運があることをふまえ、当該地区で計画作成を実践してもらい、課題や対応を推進委員会で議論し、「地区防災計画」作成の提言としてまとめる。

対象地区・組織:

所属する組織を対象

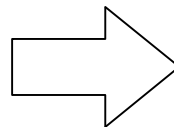
- 中島自主防災強化対策委員会
- 焼津小川第13自主防災会



点: 代表を務める1つの自主防災組織を対象に啓発・実践

所属する地域を対象

- 下田市自主防災会連絡協議会
- 伊東市岡区自主防災会
- 富士宮市防災指導員会
- 浜松市東区和田町自主防災隊



面: 地域における複数の自主防災組織を対象に啓発・実践

— 地域防災活動の推進 — 第2回~4回定例会

第2回定例会 (平成30年7月19日:地震防災センター)

- 編集委員会の報告
- 検討テーマの今後の進め方について説明

〈委員からの意見〉

〈テーマ〉地域毎の「地区防災計画」策定実践のための提言作成

対象地区・組織 取組状況:

所属する組織を対象に啓発・実践

- 中島自主防災強化対策委員会: 6/20 中心メンバー啓発。本格始動は9月下旬以降
- 焼津小川第13自主防災会: 6/10 中心メンバー啓発。地区の特性、対象災害検討

所属する地域を対象に啓発・実践

- 下田市自主防災会連絡協議会: 6/14 役員に相談。トップダウン方式を希望
- 伊東市岡区自主防災会: 伊東市全自主防災組織への啓発を、危機管理課と調整中
- 富士宮市防災指導員会: 6/23 地元消防、自治会区長を啓発。市危機管理局へ紹介
- 浜松市東区和田町自主防災隊: 15名で検討会実施。液状化や天竜川の氾濫を想定

主な意見:

- 自主防災組織のメンバーに啓発 (DVD 鑑賞や内閣府ガイドラインの説明など) を行った結果、総論については賛成であるが、検討・作成など、各論に入ろうとすると、誰が?いつ?何を?といった感じになってしまい、先に進まなくなってしまう。
- 今まで、様々な防災に対する資料を作成してきており、新たな作成手間に対して抵抗感がある。
- 計画を作成する際は女性を入れてほしい。女性の防災への関心は高い。

第3回定例会 (平成30年10月4日：県庁)

○ 編集委員会の報告

○ 検討テーマの今後の進め方について説明

〈テーマ〉地域毎の「地区防災計画」策定実践のための提言作成

対象地区・組織 取組状況：

所属する組織を対象に啓発・実践

- 中島自主防災強化対策委員会：地域特性や災害検討中。8/19 住民 100 人に地震台風に関するアンケート実施。防災玉手箱の盛り込みを検討。
- 焼津小川第 13 自主防災会：過去の災害実績、避難所運営計画、地区の災害リスクを「避難生活計画書」に項目として追加することを検討。

所属する地域を対象に啓発・実践

- 下田市自主防災会連絡協議会：
- 伊東市岡区自主防災会：
- 富士宮市防災指導員会：
- 浜松市東区和田町自主防災隊：

引き続き、市、自主防災組織、地域住民等へ
防災訓練等の機会を利用して啓発中

主な意見：

- 既存資料「避難生活計画書」など、既存の資料を見直し、実行性が確認できれば、それを「地区防災計画」に位置付けることが合理的である。
- 「地区防災計画」となり得るアウトラインをひな型で示したものがあれば、効率よく作成することができ、展開しやすいと考える。
- 生きた計画を作るには、実行性を伴うものにしなければならないと考える。

第4回定例会 (平成31年1月24日：県庁)

○ 編集委員会の報告

○ 検討テーマの今後の進め方について説明

○ 各委員による報告

〈テーマ〉地域毎の「地区防災計画」策定実践のための提言作成

所属する組織を対象に啓発・実践

- 中島自主防災強化対策委員会：市危機管理課への相談 7～8 回、地元検討会 5 回を経て地区防災計画完成。3/22 の三島市防災会議にて地域防災計画に規定予定
- 焼津市小川第 13 自主防災会：「避難生活計画書」を改良し地区防災計画が完成。
- 【新規】サーパス草薙マンション管理組合：県内初「地区防災計画」マンション版を作成中。

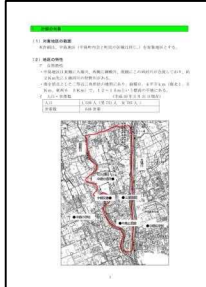
主な意見：

- 仲間作りが重要
- リーダーとなる人材の育成をやっていかなければならない。
- 防災を推進するエネルギーのある人が地域にいれば・・・
- 30 点でもよいので計画を作って、実行性を確認しながら磨き上げていけばよいと考える。
- マンションも地域も、コミュニティの考え方は同じ

実践結果 (アウトプット)

○ 三島市中島地区において地区防災計画策定

⇒平成 31 年3月 22 日(金) 三島市防災会議において地域防災計画への規定について承認



今まで蓄えてきた防災資料や防災訓練等の諸活動を踏まえ集約化することが出来ました。今後は本計画の実行性を継続的に確認し防災力の向上に取り組みます。



3/22 三島市防災会議

ワークショップの様子

○ サークス草薙運動場前マンション管理組合 県内初のマンション版地区防災計画の作成中

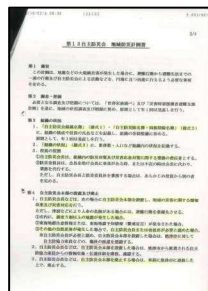
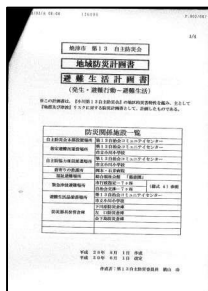
⇒静岡市駿河区役所と8月の完成を目指して調整中



災害に強い建物だからこそ備えが命を守り、設備と規約がどうなっているのかを知っている事で復旧をはやめます。備災でコミュニケーションUP!!

2月 17 日マンション住民を対象とした携帯トイレ講習会の様子

○ 焼津市小川第 13 自主防災会 避難生活計画書を活用した地区防災計画書を作成



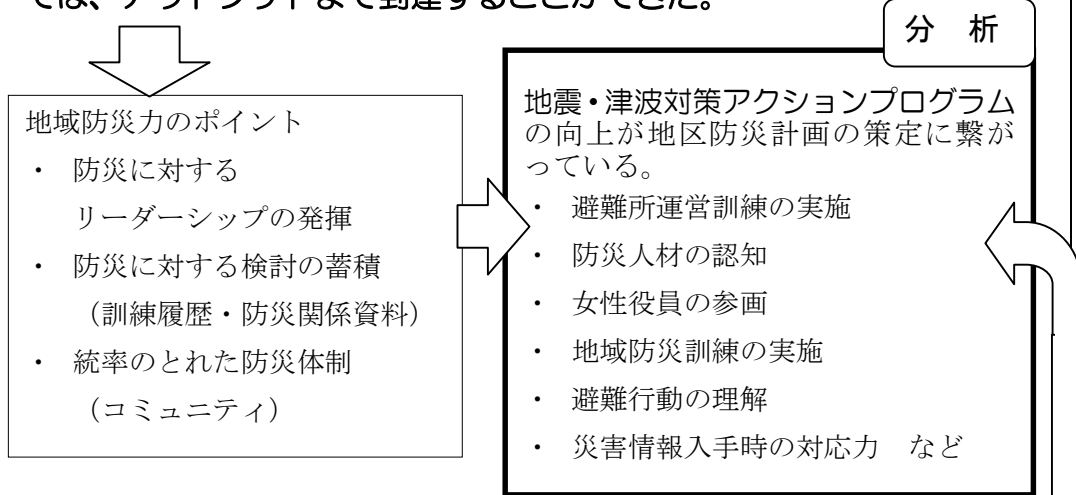
地区防災計画が出来た事はゴールではなく、スタート地点に立っています。これからの防災訓練等によってこの計画書の実行性を確認し、一層より良い計画へ昇華させたいと思います

成果 (アウトカム)

○ 啓発・実践結果の分析

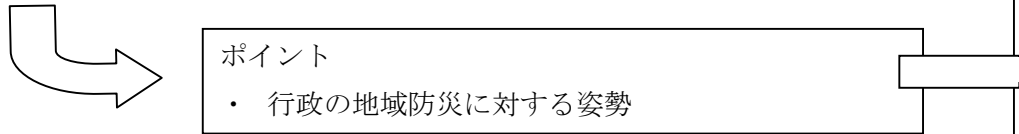
① 取組に現れた地域防災力

約 10 ヶ月では地域の年間予定（自治会会合、防災訓練など）との兼ね合いを図るのは困難。事前調整も含めて 2 年～3 年必要（一般的な実績）。一方、所属する組織を対象に啓発・実践を取り組み、2 地区では、アウトプットまで到達することができた。



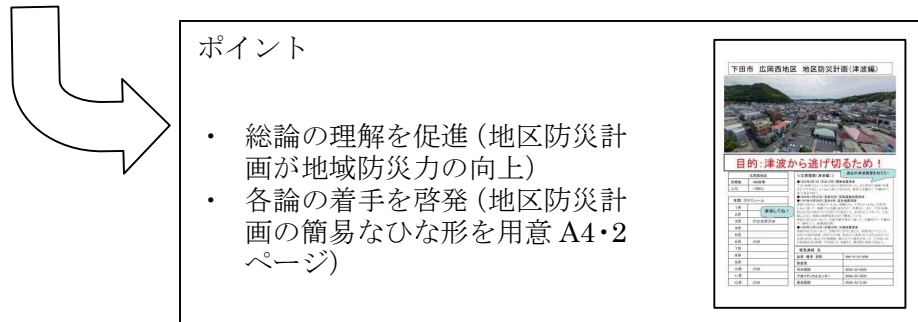
② 行政の支援

三島市中島自主防災強化対策委員会については、三島市行政のサポートが手厚く、地区防災計画の構成や住民啓発などに積極的に参画し、地区防災計画が作成され、地域防災計画で規定されるに至った。



③ 住民の意識

所属する地域を対象に啓発・実践に取り組んだ結果、地域の機運は総論賛成・各論慎重となった。作成のハードル（いつ？誰が？何を？どうやって？）を住民は高く感じている。具体的な地区防災計画策定作業には、（自主的な議論を妨げない）共有し易いひな形が効果的である。



提 言

定例会及び実践結果（アウトプット）、成果（アウトカム）を踏まえ、地域防災活動推進委員会から以下のとおり提言する。

<実践結果(アウトプット)>

- 地区防災計画は地域防災力の向上に有効
- 地区防災計画は地域防災活動の集大成

本県では、様々な取組が各自主防災組織等を中心として各地区で取り組まれており、地区防災計画の作成実践においても、防災に対する取組みの特長を改めて認識できた。

地域防災力ポイント

- ・ 防災に対するリーダーシップの発揮
- ・ 防災に対する検討の蓄積（訓練履歴・防災関係資料）
- ・ 統率のとれた防災体制（コミュニティ）

一方、地区防災計画策定まで到達した2地区では、成果（アウトカム）分析から、地震・津波対策アクションプログラム 2013 の推進項目においても達成を図っている。

アクションプログラム

- No.037 避難行動の理解
 No.108 防災人材の認知 No.113 災害情報入手時の対応力
 No.117 女性役員の参画 No.119 地域防災訓練の実施
 No.172 避難所運営訓練の実施 など

県内の自主防災組織は個々の状況が異なり、リーダーシップや検討の蓄積、統率などについては市町行政の支援充実が有効である一方、県レベルでは各組織のアクションプログラム項目達成状況を広域的に把握し、市町にフィードバックを行うことで、地区防災計画策定のみでなく地域の防災力把握と向上に資することができると思われる。

このため、下記のとおり提言する。

<提 言>

県は地域防災力の現状を正確に把握し、各地域が県内でどのような位置にいるか、客観的なデータをもとに市町行政に伝え、一体となって県全体の地域防災力を向上することが必要

2. 自主防災新聞の発行

自主防災新聞編集委員会開催日

第1回	平成30年	6月20日（水）	第100号編集
第2回		9月26日（水）	第101号編集
第3回	平成31年	1月16日（水）	第102号編集

《自主防災新聞掲載内容》

- 第100号 平成30年8月1日発行
 - (1) 特集：自主防災新聞100号記念
～これからも防災情報をお届けします！～
 - 記念号の発行についての知事の言葉
 - 過去に発生した大規模災害からの教訓をピックアップ
 - 自主防災新聞の創刊当時と現在の対策の状況を比較し、自分自身や家族を守るため、更なる家庭内対策の充実についての啓発。
 - (2) お知らせ
 - 静岡県総合防災訓練の参加呼びかけ
 - (3) その他
 - 地域防災活動推進委員会の委員紹介、今年度の委員会の取り組み
 - (4) 緊急告知
 - あなたのブロック塀は大丈夫ですか？

- 第101号 平成30年11月1日発行
 - (1) 特集：「たすけあい 知恵と力と おもいやり」
(地震防災強化月間スローガン)
 - 自助・共助の意識を高めるため、12月2日（日）の地域防災訓練に向け、11月の地震防災強化月間の重点項目を推進する呼びかけ。
 - 東日本大震災で被災した方の体験談、携帯トイレの備蓄量の目安及び使い方を踏まえて、「携帯トイレ※」の備蓄の重要性についての啓発。
※「携帯トイレ」…災害用トイレのうち、既存のトイレ等に被せて用いるもの。便袋に吸収シートが付いたものや、便袋と凝固剤を併用する等、様々な製品があります。
 - (2) わが町の防災活動！！
 - 掛川市南郷地区まちづくり協議会の活動紹介
 - (3) 静岡県危機管理部からのお知らせ
 - 停電に備えましょう！
 - 「静岡県地震防災センター」のリニューアル改修に伴う休館情報

- 第102号 平成31年3月1日発行
 - (1) 特集：地震だ、津波だ、すぐ避難！～少しでも早く、
少しでも高く～
 - 津波対策推進旬間（平成31年3月6～15日）のお知らせ及び津波避難訓練（3月10日）の参加啓発。
 - 地域の津波リスク、避難場所及び避難経路の事前確認の啓発。
 - (2) わが町の防災活動！！
 - 焼津市小川第13自主防災会の活動紹介
 - (3) 静岡県危機管理部からのお知らせ
 - 静岡県地域防災活動知事褒賞の受賞者の紹介
 - 静岡県災害時多言語支援センターの紹介

第100号 平成30年8月1日発行

特 集：災害時こそ地域で助け合おう！自主防災新聞100号記念
～これからも防災情報をお届けします！～

お 知 ら せ：静岡県総合防災訓練の参加呼びかけ
わが町の防災活動！！白田区自主防災会（東伊豆町）の活動紹介

そ の 他：地域防災活動推進委員会の委員紹介、今年度の委員会の取り組み
緊 急 告 知：あなたのブロック塀は大丈夫ですか？大阪北部で発生した地震を受け、ブロック塀の点検、撤去等の補助制度についてのお知らせ。

静岡県 危機管理課からのお知らせ

静岡県総合防災訓練に参加しよう！

【静岡県総合防災訓練（概要）】は、平成30年8月1日（水）に静岡県内各地で開催される。この訓練は、静岡県民の防災意識を高め、災害時の対応能力を向上させることを目的として実施される。参加費は無料である。

【参加要項】

- 参加対象：静岡県民（個人・団体）
- 参加費：無料
- 申し込み：各市町村の防災担当窓口へ
- 問い合わせ：静岡県危機管理課（電話：054-261-2111）

地域防災活動推進委員会委員紹介

本委員会が、今年度の活動方針を決定し、委員紹介の場を設けた。委員の皆さんは、地域防災活動の推進に尽力していただく。委員の皆さんは、地域防災活動の推進に尽力していただく。

緊急告知：あなたのブロック塀は大丈夫ですか？

大阪北部で発生した地震を受け、ブロック塀の点検、撤去等の補助制度についてのお知らせ。

自主防災新聞 No.100

2018年8月

自主防災新聞100号記念
～これからも防災情報をお届けします！～

自主防災

やはり来る東海地震

東海地震は、いつか必ず来る。その時、私たちはどうやって生き残ることができるのか。その答えは、日々の防災活動にある。自主防災新聞は、その答えを伝えるためのメディアである。

振り返ろう！ 自主防災新聞の軌跡

自主防災新聞は、1988年創刊。30年が経ちました。この30年、私たちは多くの困難を乗り越えてきました。これからも、自主防災新聞は、皆さんの防災活動をサポートしていきます。

特別取材 川勝平太

静岡県知事 川勝平太

自主防災新聞100号記念号 「自らの命は自ら守る」「自らの地域は皆で守る」

紙面に見る 災害の教訓を今、新たに

11 津波の脅威を再認識
12 地震発生時の対応
13 避難所での過ごし方
14 防災グッズのチェック
15 防災意識の向上
16 地域防災活動の推進
17 東海地震の教訓
18 東日本大震災の教訓
19 阪神・淡路大震災の教訓
20 新潟県中越前地震の教訓
21 長野県中越後地震の教訓
22 静岡県東部地震の教訓
23 静岡県西部地震の教訓
24 静岡県中部地震の教訓
25 静岡県南部地震の教訓
26 静岡県北部地震の教訓
27 静岡県東部地震の教訓
28 静岡県西部地震の教訓
29 静岡県中部地震の教訓
30 静岡県南部地震の教訓

自主防災新聞100号記念号

100号記念号の特典

100号記念号の特典

100号記念号の特典

第102号 平成31年3月1日発行

特集：地震だ、津波だ、すぐ避難！～少しでも早く、少しでも高く～
わが町の防災活動！！：焼津市小川第13自主防災会の活動紹介

お知らせ：
・ 静岡県地域防災活動知事褒賞の受賞者の紹介
・ 静岡県災害時多言語支援センターの紹介

わが町の防災活動!!

焼津市小川第13自主防災会

今年も100名以上の参加者があり、大規模な防災訓練が行われました。また、地域防災力の向上を図るため、防災訓練だけでなく、防災意識の向上を図るための様々な活動が行われています。

委員 関山 尚

自主防災新聞 No.102

2019年3月

地震だ、津波だ、すぐ避難!

～少しでも早く、少しでも高く～

静岡県 危機管理課からのお知らせ

静岡県地域防災活動知事褒賞

今年度の表彰対象となるのは、静岡県内各地で行われた防災活動に貢献した個人や団体です。表彰は、防災活動の推進に大きく貢献した者に対して行われます。

外国人県民への災害時のサポート 助け合える関係づくり

外国人県民が災害時に困らないよう、地域住民と助け合える関係づくりが重要です。災害時のサポート体制を整えることで、外国人県民の安全確保を図ります。

2月28日に行われたこと

焼津市小川第13自主防災会では、2月28日に行われた防災訓練が、大きな反響を呼びました。参加者からは、「とても勉強になりました」との声が聞かれました。

また、防災訓練だけでなく、地域防災力の向上を図るための様々な活動が行われています。

平成31年3月6日～3月15日

● 地域の津波リスクの確認
● 緊急避難場所及び避難経路の確認

平成31年3月10日

● 統一実施日
● 避難場所への避難及び避難経路の確認
● 地域内の安全確認

地震発生!!

津波に備え、今できることを確認! 家族で話し合いましょう。

地域の津波リスク

津波の被害は、津波の高さや浸水範囲によって異なります。地域の津波リスクを確認し、避難場所や避難経路を確認しましょう。

わが家の津波避難指示板

津波の被害は、津波の高さや浸水範囲によって異なります。地域の津波リスクを確認し、避難場所や避難経路を確認しましょう。

避難場所

津波・その他(掃気・洪水等)

避難場所を確認し、避難経路を確認しましょう。

浸水深

津波の高さを確認し、避難場所を確認しましょう。

避難場所までの避難経路

避難場所までの避難経路を確認し、避難場所を確認しましょう。

浸水深

津波の高さを確認し、避難場所を確認しましょう。

富国有徳の理想郷—しずおか



Shizuoka Prefecture

静岡県地域防災活動推進委員会に関するお問い合わせ

静岡県危機管理部危機情報課

〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号

TEL 054-221-2644 FAX 054-221-3252

インターネットによる防災情報は、下記のホームページで提供しています。

静岡県危機管理部 <http://www.pref.shizuoka.jp/bousai/>

静岡県地震防災センター <http://www.pref.shizuokajp/bousai/e-quakes/>